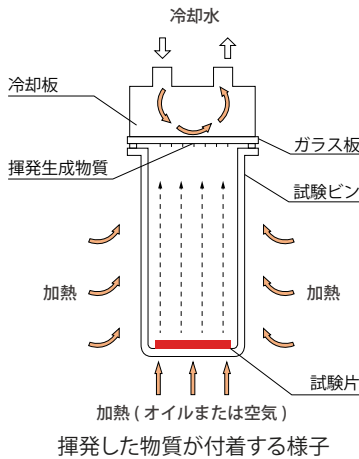


フォギングテスター WF-1 WF-3

ISO 6452 / ISO 17071 / SAE J1756

自動車内装材の揮発成分による影響を試験

自動車内装材(ゴム・プラスチック・皮革・繊維)から発生する揮発成分が、温度差によりフロントガラス内面等に付着し視界を妨げる現象(フォギング)を促進再現します。試験片を入れた試験ビンの加熱方法は、WF-1型はオイル加熱方式、WF-3型は空気加熱方式です。



ISO 6452:2021 に適合した空気加熱方式 (WF-3 型)

オイル加熱方式と比較して試験の手間・コスト・環境への負荷を削減できます。

試験槽の正確な温度制御

試験槽にセンサを配置し温度制御するため、試験温度が正確。オプションで試験ビン内の試験片位置にセンサを置いて温度制御することも可能。

水冷却式冷却板の正確な温度制御

ガラス板冷却用の冷却板内にセンサを配置し、付属の冷却板冷却水循環装置(別設置)で水温を制御するため、ガラス板の冷却温度が正確です。

試験面を確認しやすいフォギング試験用ガラス

試験に使用するフロートガラス板は、試験面を一目で確認できるように、錫引き面(試験面と反対側)にマークを付けています。

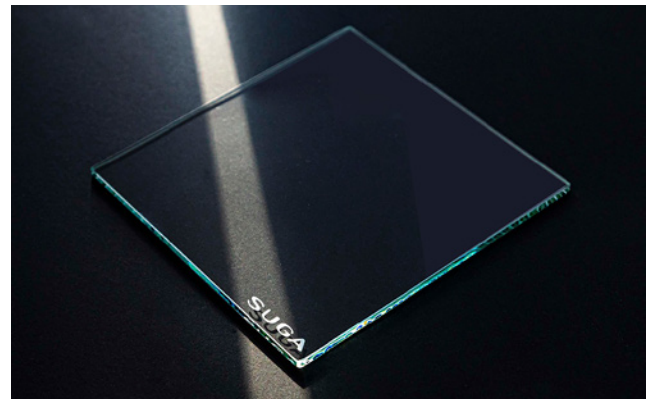
試験後の光学測定評価には、当社のグロスメーター、ヘーズメーター、可視光線透過率が用いられています。



WF-3



WF-3 型の試験槽上面



フォギング試験用ガラス(錫引き面にマークを付けています)

型式	WF-1	WF-3
加熱方式	オイル加熱方式	空気加熱方式
試験ビン個数	6個	7個
試験ビン寸法	約外径φ90×190×t3mm	約外径φ90×190×t3.5mm
ガラス板寸法	約110×110×t3mm	
試験温度	60~150℃	
冷却板冷却水温度	20~40℃(別設置の冷却板冷却水循環装置が付属)	
冷却板冷却方法	冷却水循環方式	
電源容量	単相200V 約25A	単相100V 約24A
本体寸法	約幅83×奥行77×高さ90cm	約幅79×奥行120×高さ67cm
運転質量	約140kg	約150kg

<オプション> キャビネット冷却板冷却水循環装置収納用、記録計(0~150℃)、タイマ

●本体寸法および運転質量は冷却板冷却水循環装置を除いた数値です。

<特殊仕様対応>

自動車メーカー各社の試験仕様に応じて、試験ビン寸法、ガラス板寸法、試験ビン取付け部、オイルバスの浸漬深さなどが異なります。製作時に予めご指定願います。

本カタログに記載の仕様は改善・改良のため予告なく変更する場合があります。本体の付属品・オプション品については、最新の仕様書をご確認ください。
本カタログに記載の試験規格はカタログ制作当時のものです。また、試験規格内の全ての試験条件に対応することを示すものではありません。試験規格は定期的に見直し・改正されますので、最新の規格内容をご確認ください。



スガ試験機株式会社 Suga Test Instruments Co.,Ltd.

www.suga-global.com
www.sugatest.co.jp

本社	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 5-4-14	tel 03-3354-5241	fax 03-3354-5275
光研究所	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 6-10-2	tel 03-6867-0810	fax 03-6867-0811
日高・川越工場	〒 350-1213	埼玉県 日高市 高萩 1973-1	tel 042-985-1661	fax 042-989-6626
名古屋支店	〒 465-0051	名古屋市 名東区 社が丘 1-605	tel 052-701-8375	fax 052-701-8513
大阪支店	〒 564-0053	大阪府 吹田市 江の木町 3-23	tel 06-6386-2691	fax 06-6386-5156
広島支店	〒 733-0033	広島市 西区 観音本町 2-12-11	tel 082-296-1501	fax 082-296-1503